

要請番号 (JL52722A10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ナミビア	G182 小学校教育	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・ 2022/4 ・ 2023/1 ・ 2023/2 ・ 2023/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・芸術・文化省

2) 配属機関名 (日本語)

パヘイエ小学校

3) 任地 (エロンゴ州 オマルル) JICA事務所の所在地 (ウィントフック)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

首都から西(大西洋)に向かう幹線道路の中間地点からさらに30分ほど北上した場所にあるオマルル市(人口約6,300名)にある小学校。同地域は地元の首長を称えるお祭りやワイナリーなどで知られている。配属先は市の郊外に位置し、グレード0～7年生(日本の年長クラス～中学1年生に相当)の児童が通う。全校児童は約500名、各学年は1～2クラス、全教員数は14名、年間予算は約90万円。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ナミビアの教育現場の課題として、教員の授業スキルが十分とは言えず、生徒への発問も、考えさせる間もなく答えを伝えて一方的な説明となったり、板書をノートに写すことが授業の中心となっていることがあげられる。特に算数では低学年時に数の概念が習得できず、高学年になっても指を使ってカウントする児童が散見され、学習内容が理解できず、算数の単位を落として留年する児童も多い。また、小学校修了時(グレード7年生)の算数の習熟度は41%とかなり低い状況である。「第5次国家開発計画」では「能力が高く、健全な人材育成」が目標の一つと掲げられ、基礎教育の分野では識字率と計算力の強化が戦略の一つとなっており、現状を改善し、教育の質の向上に向けた支援が求められ要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 初年度はグレード4～7(小4年～中1程度)の算数の授業を担当する。(数の概念の定着に向け、教具を取り入れた生徒が分かりやすい授業を行う。) 2年目からは、現地教員と共にグレード1～3年生(小1～3年)の算数を指導予定。
- 同僚教員の教授能力強化に向けたサポートを行う。(教材を利用した授業方法の紹介や教材作成のアドバイスなど)
- 可能であれば、美術、体育、音楽などの授業を担当することや、感染予防に向けた手洗い指導などの衛生教育の実施も期待されている。
- 市内および近隣の小/中高校、教育事務所に派遣される隊員との連携活動が期待されている。(教員向け研修などを他の隊員や配属先関係者と協働しながら実施することを想定)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

事務機器一式(コピー機、プリンターなど)はあるが、指導教材(美術・体育・音楽を含む)は十分ではないため、現地にある物品と自身のアイデアを生かして製作する必要がある。

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長 女性 50代
同僚教員 14名 20～50代 (男性5名/女性9名)
秘書・校務員4名

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]：(小学校教諭)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(指導経験) 備考：指導に求められるため。

[参考情報]：

- ・指導経験は1年以上が望ましい。

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(10～40℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

現在、オマルル市内の公立小学校(3校)と中高校(1校)、教育事務所に海外協力隊を複数代に渡り派遣し、生徒の算数・数学の習熟度の向上と教員の指導の質の向上を目指した隊員派遣を実施中。現在、オマルル市内の小学校(1校)にて隊員(2021-1小学校教育)が活動中。